

# Market Watching

発表日:2020年3月16日(月)

## FRBは緊急利下げ、コロナ対策強化する欧米(マーケットウィークリー)

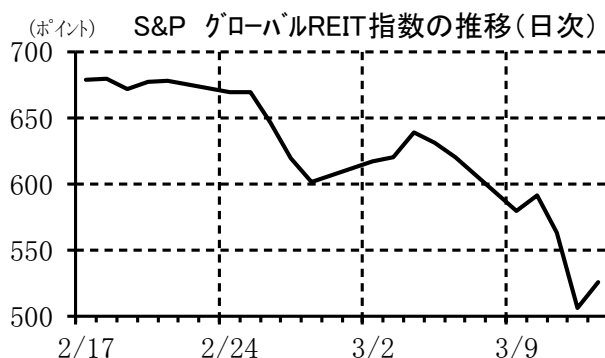
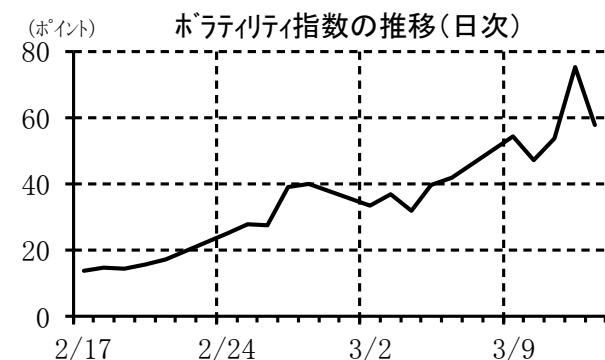
～移動制限強化で景気への一時的な下押し影響は避けられないが、有効なら光が見える～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
取締役・首席エコノミスト 嶋峰 義清 (TEL:03-5221-4521)

### 【先週の市場動向】

#### 先週の経済指標・金融政策

発表日	経済指標・会合	結果	コンセンサス	前回	備考
3月9日(月)	日本：実質GDP (10-12月二次速報値) 日本：国際収支統計 (1月)・経常収支 日本：景気ウォッチャー調査 (2月)・先行き判断DI	▲7.1% +6,123 24.6	▲6.6% +6,235 37.5	▲6.3% +5,240 41.8	前期比年率 億円、原数値
3月10日(火)	中国：消費者物価指数 (2月)	+5.2%	+5.2%	+5.4%	前年比
3月11日(水)	米国：消費者物価指数 (2月)・総合 ・コア	+2.3% +2.4%	+2.2% +2.3%	+2.5% +2.3%	前年比 前年比
3月12日(木)	日本：企業物価指数 (2月) 日本：法人企業景気予測調査 (1-3月) ユーロ：鉱工業生産 (1月) ユーロ：ECB理事会・ECB主要政策金利 ・ECB預金フシリティ金利	▲0.4% ▲17.2 +2.3% 0.00% ▲0.50%	▲0.3% — +1.4% 0.00% ▲0.50%	+0.2% ▲7.8 ▲2.1% 0.00% ▲0.50%	前月比 BSI大企業製造業 前月比
3月13日(金)	米国：ミシガン大学消費者信頼感指数 (3月速報値) ノルウェー：金融政策委員会 (臨時会合)	95.9 1.00%	95.0 —	101.0 1.50%	ポイント 中銀預金金利
3月14日(土)	—	—	—	—	—
3月15日(日)	—	—	—	—	—



## 主要市場の動向

	直近値	変化			移動平均値		
		1週前比	1月前比	1年前比	25日	75日	200日
10年債利回り							
米国	0.960	+19.8	▲95.4	▲197.5	1.022	1.374	1.555
日本	0.005	+15.0	+4.5	+5.5	-0.081	-0.042	-0.122
ドイツ	-0.544	+16.6	▲15.8	▲60.9	-0.547	-0.369	-0.413
豪州	0.978	+30.3	▲6.4	▲98.4	0.891	1.075	1.110
株価							
NYダウ	23185.62	▲10.4	▲21.2	▲9.8	26992	28056	27298
日経平均	17431.05	▲16.0	▲26.8	▲18.1	21913	23059	22256
ユーロSTOXX50	2586.02	▲20.0	▲32.8	▲22.2	3462	3648	3563
上海総合	2887.43	▲4.8	▲0.6	▲4.6	2970	2982	2950
為替相場							
ドル/円	107.96	+2.5	▲1.7	▲2.9	108.50	108.99	108.26
ユーロ/円	119.06	+0.1	▲0.0	▲5.4	119.43	120.63	120.16
豪ドル/円	66.99	▲4.2	▲9.2	▲15.0	71.51	73.78	73.83
ユーロ/ドル	1.1106	▲1.6	+2.4	▲2.0	1.101	1.107	1.110
商品市況							
WTI	31.73	▲23.1	▲38.3	▲45.5	46.01	54.03	55.24
金	1516.7	▲9.3	▲3.7	+15.8	1616	1556	1499

(注) 10年債利回りの変化は金利差 (bp)。その他は変化率 (%)

為替相場の変化は、ドル/円、ユーロ/円、豪ドル/円は+が円安、▲が円高。

ユーロ/ドルは+がユーロ高、▲がユーロ安。

先週 (3/9~3/13) の金融市場は、欧米主要国を中心に株価が前週末比二桁下落、NYダウなどは一日の下落幅の記録を更新するなど大荒れの展開となった。新型コロナウイルスの感染者が欧米を中心に急拡大、感染国も増加の一途を辿り、WHOはパンデミックを宣言するなど世界経済への警戒感が一段と強まった。米国は、欧州からの入国を1ヶ月禁止する措置を講じたほか、欧州の一部の国では人の移動の制限を強め、必要最小限の商業施設のみの営業を許可するなど、経済活動への制約が一段と強まった。一方で、週末には米国も国家非常事態を宣言したが、市場では米国のコロナ対策が本格化することを好感して、株高・金利上昇要因となって越週した。

今週のマーケットは、引き続き乱高下が続く可能性が高い。欧米での感染拡大は加速傾向にある。FRBは15日、FF金利の誘導目標水準を0.00~0.25%へと1.00%引き下げる緊急利下げを行った。同時に、量的緩和政策も復活させた。今後数ヶ月で米国債を少なくとも5,000億ドル、MBS (住宅ローン担保証券) を2,000億ドル買い入れることを決定した。また、日銀、ECB、BOE、カナダ中銀、スイス中銀と、ドル供給 (米ドルスワップ) の拡充を決定した。FRBは緊急利下げについて、新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした景気の下振れ圧力の増大への対応とした。また、パウエルFRB議長は記者会見で、金融市場での資金の逼迫を警戒してのものであったと説明している。これを受けて日米の株価先物は一旦大幅に上昇したものの、その後は急落している (日本市場寄り付き前時点)。異例ともいえる日曜夜 (米国時間) での緊急利下げと主要中銀の協調は一旦は好意的に受け止められたものの、今回の措置で景気が浮揚するとの見方にも繋がらず、(財政政策などを含めて総合的に見れば) 対策は不十分との見方が勝った。また、金利がゼロにまで引き下げら

れたことで、FRBの執りうる手段は出尽くしてきた（今後はマイナス金利や量的緩和の拡大程度しかない）との警戒感を高めることにも繋がったと考えられる。

ところで、欧米各国で足元で講じられ始めている感染拡大を抑止するためのさまざまな対策の効果は、（効果があったとしても）新規感染者の増加ペースの鈍化という形で目に見えてくるのは1~2週間後となる。各国のコロナ対策が確実に効果が現れると市場が確信していれば、足元の数字に踊らされない可能性はある。しかし、もう一つ気になるところは景気への影響で、今週は中国で1~2月分の工業生産と小売売上高、米国では3月分のNYとフィラデルフィアの製造業景気指数、ドイツでは3月分のZEW景気指数がそれぞれ発表される。中国とドイツの統計はかなりの悪化となることが見込まれており、市場の事前予想通りでもショッキングなインパクトがある。より経済活動を制約する対策が執られ始めたことで、景気への悪影響はさらに強まる。こうした対策の影響が十分には出ていない3月中旬までの欧米の統計が警戒している以上に悪化すれば、景気に対する悲観的な見方はより一層強まろう。ただし、読みにくいのは米国の3月分の景気指数で、市場では前月からの大幅低下を予想はしているが、判断基準の分かれ目となるゼロを上回る水準を予想している。その程度にとどまるのであれば、各種コロナ対策によって感染拡大ペースのピークが1~2週間後に訪れるのであれば、米景気は失速までは避けられるかもしれないとの期待も市場に出てくる可能性がある。

## 【今週のマーケット環境】

## 今週の経済指標・金融政策

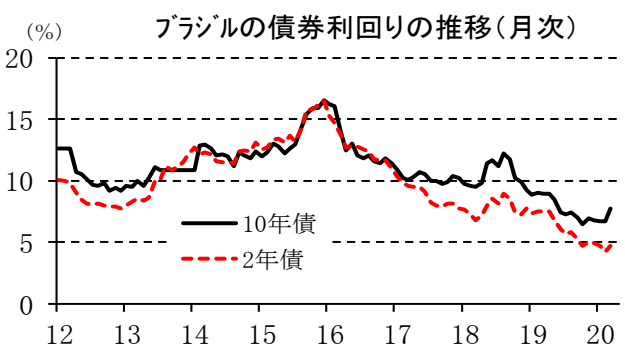
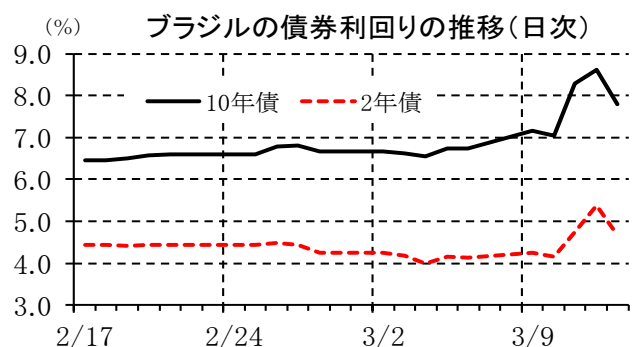
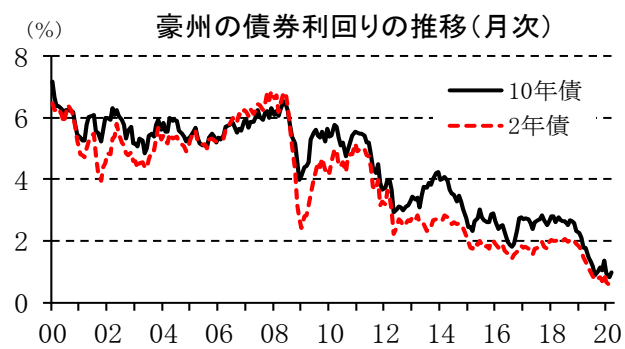
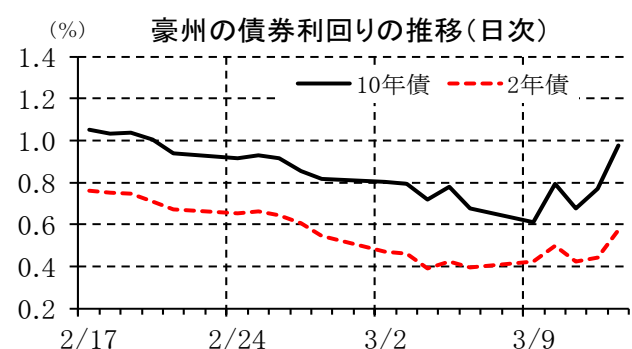
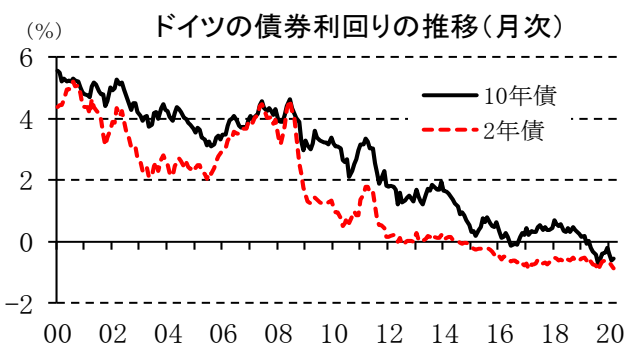
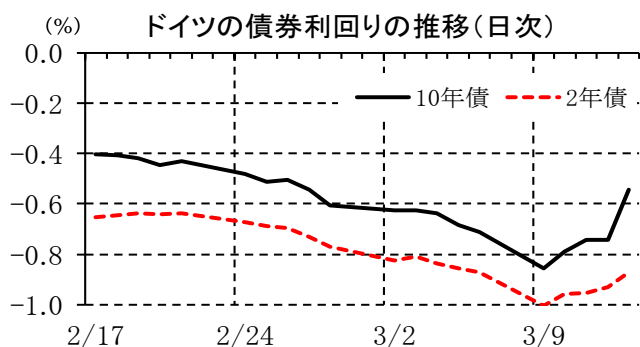
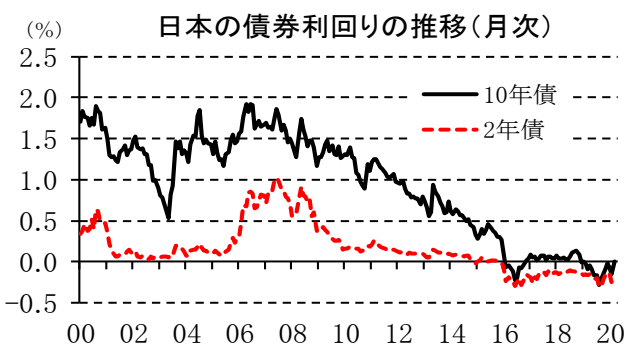
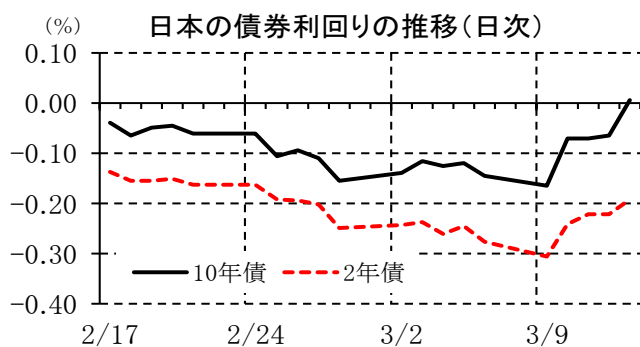
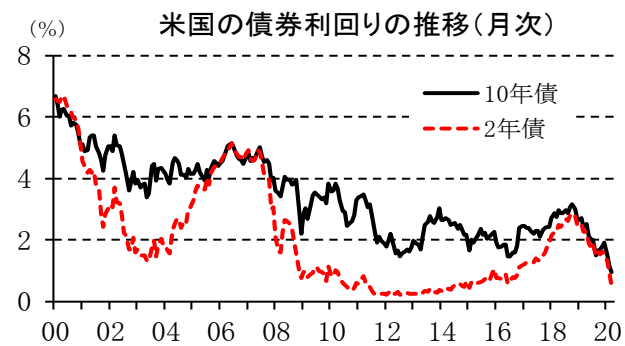
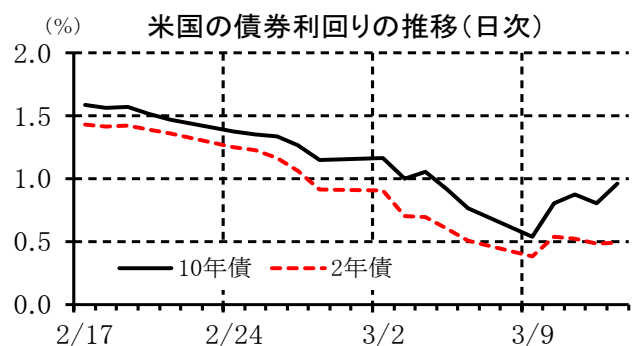
発表日	経済指標・会合	注目度	コンセンサス	前回	備考
3月16日(月)	日本：機械受注統計(1月)・船電除く民需	★	▲0.7%	▲3.5%	前年比
	中国：鉱工業生産(1-2月)	★★	▲3.0%	+5.7%	前年比
	中国：小売売上高(1-2月)	★★★	▲1.7%	+8.0%	前年比
	中国：固定資産投資(1-2月)	★	▲2.0%	+5.4%	年初来前年比
	米国：NY連銀製造業景気指数(3月)	★	+6.1	+13.0	ポイント
3月17日(火)	ドイツ：ZEW景況感調査(3月)・期待指数	★	▲27.2	+8.7	ポイント
	米国：小売売上高(2月)・全体	★★★	+0.2%	+0.3%	前月比
	・除自動車	★★	+0.2%	+0.3%	前月比
米国：鉱工業生産指数(2月)	★★	+0.4%	▲0.3%	前月比	
3月18日(水)	日本：貿易統計(2月)・輸出	★★	▲4.1%	▲2.6%	前年比
	・輸入		▲14.1%	▲3.5%	前年比
	・貿易収支		+9,295	▲13,132	億円
	米国：住宅着工件数(2月)	★	149.0	156.7	万件
	米国：FOMC・上限金利	★★	0.75%	1.25%	FF金利
	・下限金利	★★	0.50%	1.00%	FF金利
	・パウエルFRB議長記者会見	★★★			
ブラジル：金融政策委員会	★	4.00%	4.25%	政策金利(Selic)	
3月19日(木)	日本：全国消費者物価指数(2月)・総合	★	+0.5%	+0.7%	前年比
	・除生鮮食品	★	+0.6%	+0.8%	前年比
	日本：日銀金融政策決定会合・政策金利		—	▲0.10%	日銀当座預金残高金利
	・10年債利回り操作目標		—	0.00%	10年物国債利回り
	・日銀総裁記者会見	★★			
	台湾：金融政策委員会	★	1.375%	1.375%	公定歩合
	フィリピン：金融政策決定会合	★	3.50%	3.75%	翌日物リバースポ金利
	スイス：金融政策決定会合		▲0.75%	▲0.75%	SNB要求払預金金利
	トルコ：金融政策委員会	★	10.25%	10.75%	1週間物レポ金利
南ア：金融政策委員会	★	6.00%	6.25%	平均レポレート	
米国：フィアット連銀製造業景況感指数(3月)	★	+12.5	+36.7	ポイント	
3月20日(金)	米国：中古住宅販売件数(2月)	★	555	546	万件
3月21日(土)	—				
3月22日(日)	—				

(注) 市場コンセンサスは各種ベンダー調査に基づく。注目度は筆者。

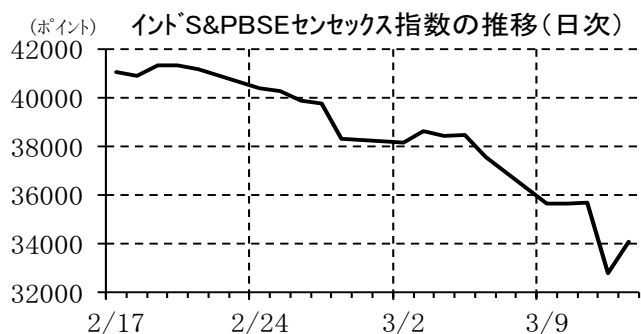
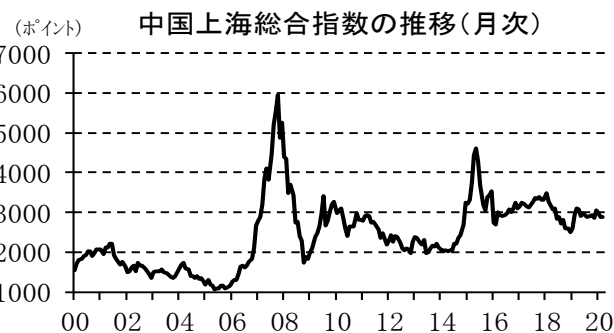
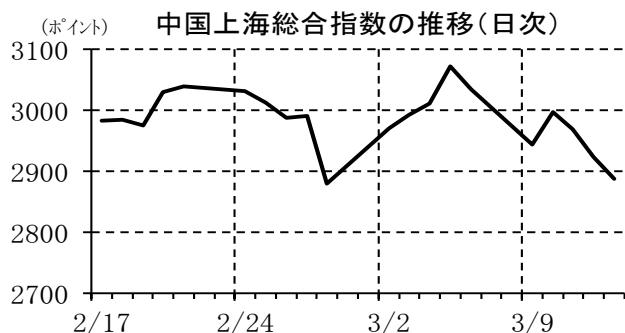
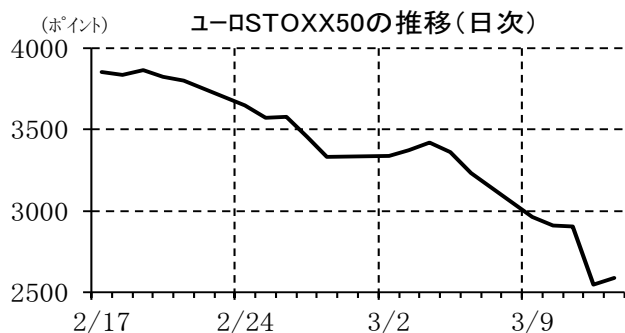
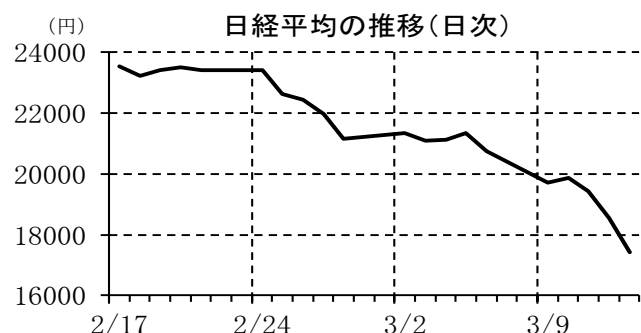
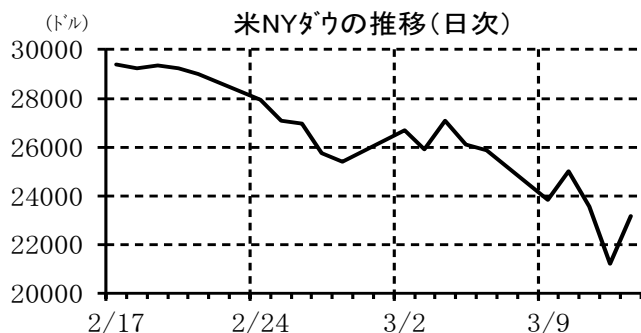
## その他の注目イベント・材料

発表日	イベント	注目度	備考
3月16日(月)	英国：ベイル-BOE総裁就任		
3月17日(火)	米国：大統領予備選(4州)	★★★	
3月18日(水)	日本：訪日外客数(2月)		
3月19日(木)	—		
3月20日(金)	日本：祝日		
3月21日(土)	—		
3月22日(日)	フランス：地方選挙(決戦投票)	★	

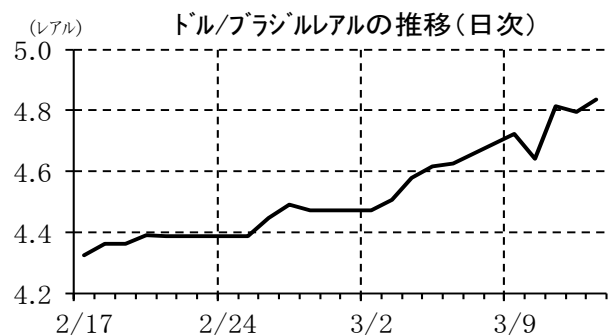
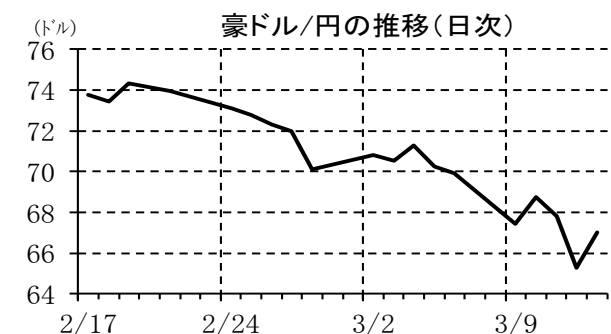
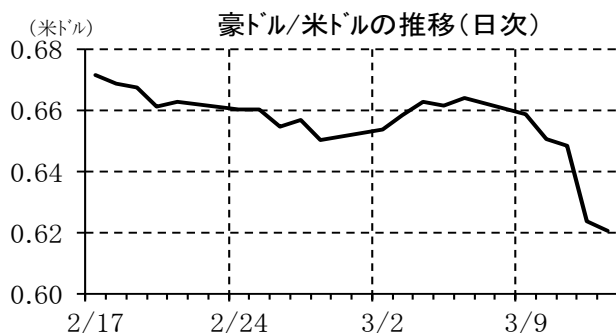
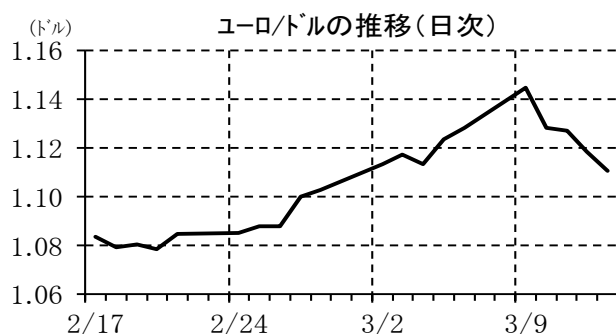
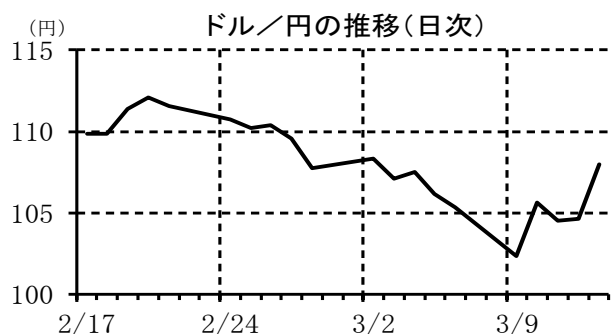
(注) 各種報道等による。注目度は筆者。



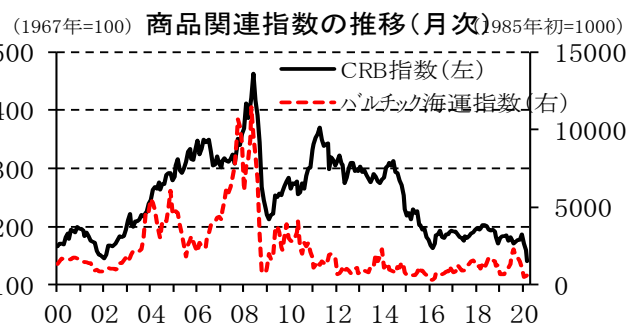
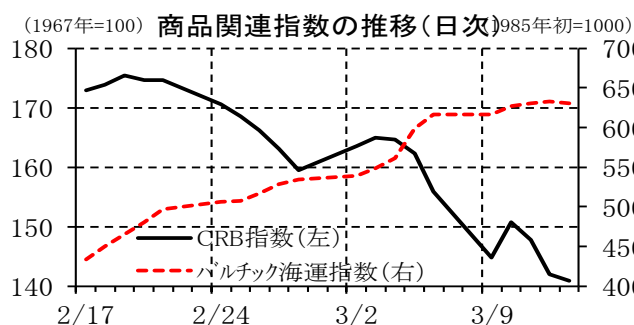
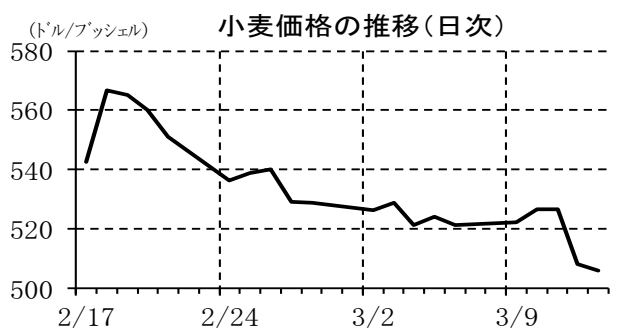
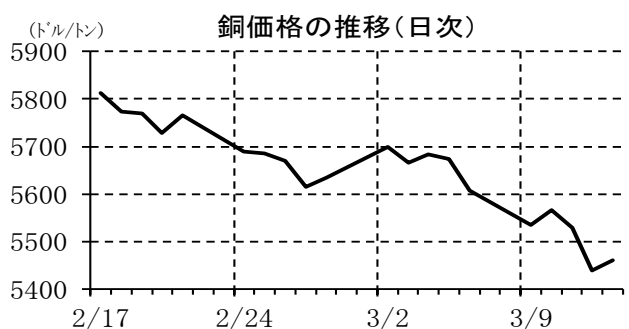
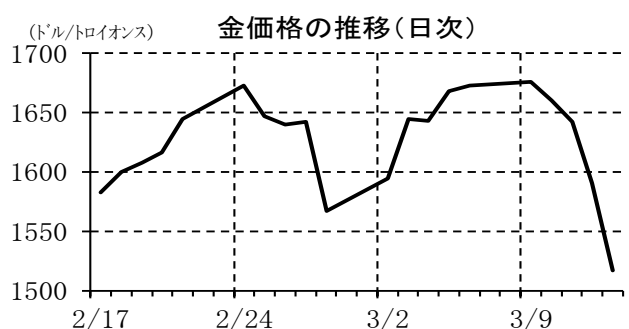
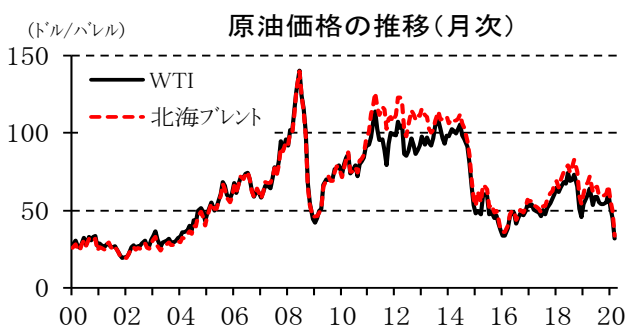
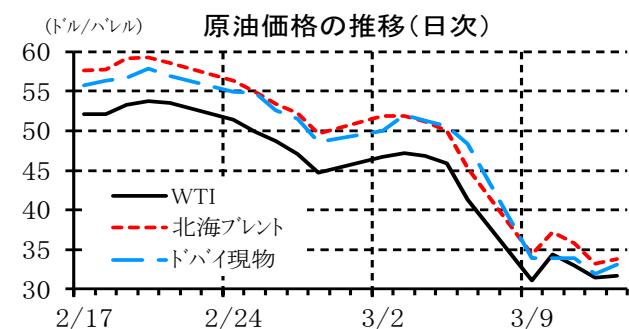
## 【株価指数】



## 【為替相場】



## 【商品市況】



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。